

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業	事業実施計画期間	平成28年度～平成32年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	(とねじょうりゅう) 利根上流森林計画区 (群馬県)	事業実施主体	関東森林管理局 利根沼田森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本事業は、群馬県の北部に位置する沼田市、利根郡片品村、川場村、昭和村、みなかみ町の1市1町3村を対象としている。森林面積は152千haであり、そのうち国有林は97千haで森林面積の64%を占めている。</p> <p>本計画区の人工林面積は28千haで、森林面積の32%を占め、樹種別には、スギ24%、ヒノキ9%、カラマツ41%、アカマツ7%、その他19%となっている。スギは全般的に良好に生育しており、ヒノキは子持・南郷地区の生育が良好である。カラマツは昭和40年代に積極的に植栽されたX齢級以下の林分が約半数を占めており、生育状況は全般的に中庸である。</p> <p>近年、クマやシカによる林木への剥皮被害・食害が増加しており、計画区全般にわたり被害を受けているため、木材生産機能のほか、国土保全、水源涵養機能等確保の観点から健全な森林状態を維持するための対応が求められている。また、希少猛禽類をはじめ貴重な野生生物の生育、生息環境として、これらに配慮した森林施業が求められている。</p> <p>このような国民の期待に応え、本事業においては森林の有する多面的機能の持続的な発揮を確保することを目的に、次の観点から更新作業や間伐等の森林整備を行うとともに、森林施業の効率的・効果的な実施に必要な路網の整備を行うものである。</p> <p>(森林整備実施における観点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・下層植生の育成を促す等水源の涵養機能を高める。 ・林業と野生生物の保護との両立に配慮し生物多様性の保全を図る。 ・木材資源の質的向上と水土保全機能を高め、林産物の供給や多様な森林資源の整備に資する。 ・二酸化炭素の吸収源、貯蔵庫として地球温暖化の防止等の効果を高める。 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">861ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>6,704ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>14.6km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0.6km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>2,596,333千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	861ha			保育面積	6,704ha		路網整備	開設延長	14.6km			改良延長	0.6km	総事業費			2,596,333千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	861ha																				
		保育面積	6,704ha																				
	路網整備	開設延長	14.6km																				
		改良延長	0.6km																				
総事業費			2,596,333千円																				
費用対効果分析	総便益(B)	12,878,060千円																					
	総費用(C)	3,228,154千円																					
	分析結果(B/C)	3.99																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	事業の必要性、効率性、有効性が認められることから、本事業の実施は妥当と判断される。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性 林産物の安定供給のほか、獣害対策や貴重な野生生物に対する配慮が求められる地域であり、本事業の実施により健全な森林の育成・維持に資することから事業の必要性が認められる。 ・有効性 事業計画は、地域の特性を踏まえ、必要な更新、保育等の森林整備となっており、路網整備と連携した計画となっている。 ・効率性 伐採計画を踏まえた路網整備や更新計画となっており、費用対効果分析の結果から事業の効率性が認められる。 <p>新規事業採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																						

別紙様式 7

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業
 施行箇所：利根上流森林計画区

都道府県名：群馬県
 (単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養 ^{かん} 便益	洪水防止便益	3,035,154	
	流域貯水便益	774,819	
	水質浄化便益	1,637,183	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,382,332	
環境保全便益	炭素固定便益	1,169,241	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	226,991	
	木材利用増進便益	244	
	木材生産確保・増進便益	1,433,357	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	4,740	
	森林整備促進便益	213,999	
総 便 益 (B)		12,878,060	
総 費 用 (C)		3,228,154	千円
費用便益比	$B \div C = \frac{12,878,060}{3,228,154} = 3.99$		

森林環境保全整備事業 利根上流森林計画区(群馬県)事業概要図

森林整備事業のイメージ



植付作業



下刈作業



保育間伐



林業専用道新設工事